

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日 東

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所  
 コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニットジェネラルマネージャー (氏名) 橋高 公久 (TEL) 03-5572-0233  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	809,091	△12.7	338,354	△25.3	354,339	△28.0	67,453	△33.7
27年3月期第3四半期	926,597	△7.1	452,698	△17.3	492,358	△9.5	101,783	△4.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △9,174百万円(—%) 27年3月期第3四半期 288,225百万円(9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	46.19	—
27年3月期第3四半期	69.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,611,068	3,334,054	66.5
27年3月期	4,499,153	3,288,703	68.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期3,065,172百万円 27年3月期3,066,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	997,000	△14.9	364,000	△31.9	375,000	△34.8	52,000	△33.2	35.61

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2.(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	1,462,323,600株	27年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,966,400株	27年3月期	1,966,400株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	1,460,357,200株	27年3月期3Q	1,460,357,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3,600.00	—	3,600.00	7,200.00
28年3月期	—	3,600.00	—		
28年3月期(予想)				3,600.00	7,200.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	13
4. 参考情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は油価及びガス価が下落したことにより、売上高は前年同期比1,175億円、12.7%減の8,090億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比393億円、6.7%減の5,516億円、天然ガス売上高は前年同期比741億円、23.1%減の2,474億円となりました。当第3四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比27,861千バレル、47.6%増加の86,423千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比23,505百万立方フィート、10.4%増加の250,110百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比25,281百万立方フィート、14.1%増加の205,121百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比48百万立方メートル、3.8%減少の1,206百万立方メートル、立方フィート換算では44,989百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり52.49米ドルとなり、前年同期比42.78米ドル、44.9%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり7.02米ドルとなり、前年同期比5.22米ドル、42.6%の下落となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり53円19銭となり、前年同期比4円、7.0%の下落となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル121円38銭となり、前年同期比15円81銭、15.0%の円安となりました。

売上高の減少額1,175億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の増加により3,080億円の増収要因、販売単価の下落により5,169億円の減収要因、為替は売上の平均為替レートが円安になったことにより953億円の増収要因、その他の売上高は40億円の減収要因となりました。

一方、売上原価は、主に平均為替が円安に推移したことにより、前年同期比134億円、3.5%増の4,022億円となりました。探鉱費は主に米州地域での探鉱活動が減少したことにより、前年同期比173億円、81.2%減の39億円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比6億円、1.1%増の644億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比1,143億円、25.3%減の3,383億円となりました。

営業外収益は、有価証券売却益や為替差益が増加したものの、権益譲渡益が減少したこと等により、前年同期比143億円、22.5%減の495億円となりました。営業外費用は生産物回収勘定引当金繰入額が増加したこと等により、前年同期比92億円、38.1%増の335億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比1,380億円、28.0%減の3,543億円となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比866億円、22.2%減の3,033億円となり、四半期純利益は前年同期比513億円、50.2%減の510億円となりました。非支配株主に帰属する四半期純損失は164億円となり、以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比343億円、33.7%減の674億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①日本

販売数量の減少及び油価・ガス価の下落により、売上高は前年同期比142億円、15.5%減の775億円となり、営業利益は前年同期比35億円、44.0%減の45億円となりました。

## ②アジア・オセアニア

販売数量の増加及び為替が円安に推移したものの、油価・ガス価の下落により、売上高は前年同期比710億円、22.2%減の2,491億円となり、営業利益は前年同期比662億円、42.4%減の899億円となりました。

## ③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

販売数量の増加及び為替が円安に推移したものの、油価の下落により、売上高は前年同期比255億円、33.2%減の515億円となり、営業利益は前年同期比154億円、55.6%減の122億円となりました。

## ④中東・アフリカ

販売数量の増加及び為替が円安に推移したものの、油価の下落により、売上高は前年同期比82億

円、1.9%減の4,203億円となり、営業利益は前年同期比342億円、12.2%減の2,460億円となりました。

⑤米州

油価・ガス価は下落したものの、原油販売数量の増加及び為替が円安に推移したことにより、売上高は前年同期比15億円、17.4%増の104億円となり、営業損失は探鉱費の減少等により、前年同期比52億円、44.0%減の67億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4兆6,110億円となり、前連結会計年度末の4兆4,991億円と比較して、1,119億円の増加となりました。流動資産は1兆213億円で、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末と比較して3,211億円の減少となりました。固定資産は3兆5,897億円で、有形固定資産及び無形固定資産の増加等により前連結会計年度末と比較して4,330億円の増加となりました。

一方、負債は1兆2,770億円で、前連結会計年度末の1兆2,104億円と比較して665億円の増加となりました。このうち流動負債は3,619億円で、前連結会計年度末比33億円の減少、固定負債は9,151億円で、前連結会計年度末比698億円の増加となりました。

純資産は3兆3,340億円となり、前連結会計年度末比453億円の増加となりました。このうち、株主資本は2兆5,876億円で、前連結会計年度末比381億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は4,775億円で、前連結会計年度末比396億円の減少、非支配株主持分は2,688億円で、前連結会計年度末比468億円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の2,609億円から当第3四半期中に減少した資金1,284億円を差し引いた1,325億円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比210億円増の1,514億円となりました。これは主に、油価及びガス価の下落により税金等調整前四半期純利益が減少したものの、法人税等の支払額が減少したことや未収入金が減少したこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は4,254億円（前年同期は408億円の収入）となりました。これは主に、長期預金の預入による支出や権益取得による支出が増加したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は1,480億円（前年同期は44億円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入や非支配株主からの払込みによる収入が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想については、平成28年3月期第3四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成27年11月10日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

通期連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	1,069,000	418,000	434,000	70,000
今回修正予想(B)	997,000	364,000	375,000	52,000
増減額(B-A)	△72,000	△54,000	△59,000	△18,000
増減率(%)	△6.7	△12.9	△13.6	△25.7

なお、原油価格の大幅な下落等に伴い、現在、上流資産の再評価を行っています。今後の原油価格見通しやプロジェクトの計画見直し等により、生産中プロジェクトを中心とした一部の上流資産で、減損損失等を計上する可能性があり、それにより決算への影響が生じる見込みとなった場合は、お知らせします。

上記通期連結業績予想は以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期(実績)	57.3ドル/バレル	上期(実績)	57.3ドル/バレル
	下期	50.0ドル/バレル	下期	37.4ドル/バレル
	通期平均	53.7ドル/バレル	通期平均	47.3ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期(実績)	121.9円/ドル	上期(実績)	121.9円/ドル
	下期	120.0円/ドル	下期	120.7円/ドル
	通期平均	120.9円/ドル	通期平均	121.3円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。



## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、  
取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が3,014百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	922,683	722,665
受取手形及び売掛金	77,209	66,595
有価証券	162,289	61,802
たな卸資産	31,652	41,363
その他	161,481	141,748
貸倒引当金	△12,905	△12,865
流動資産合計	1,342,409	1,021,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	138,010	127,837
坑井(純額)	36,391	57,761
機械装置及び運搬具(純額)	109,686	142,133
土地	19,869	19,678
建設仮勘定	1,173,409	1,386,223
その他(純額)	20,254	18,236
有形固定資産合計	1,497,621	1,751,870
無形固定資産		
のれん	74,319	69,249
その他	384,450	505,182
無形固定資産合計	458,769	574,431
投資その他の資産		
投資有価証券	284,090	239,138
生産物回収勘定	703,291	754,648
その他	345,803	424,500
貸倒引当金	△8,398	△8,326
生産物回収勘定引当金	△121,707	△144,197
探鉱投資引当金	△2,727	△2,307
投資その他の資産合計	1,200,352	1,263,456
固定資産合計	3,156,743	3,589,758
資産合計	4,499,153	4,611,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,474	54,413
短期借入金	33,206	70,327
未払法人税等	60,185	31,087
探鉱事業引当金	9,492	6,817
役員賞与引当金	70	51
資産除去債務	1,093	375
その他	207,690	198,839
流動負債合計	365,212	361,911
固定負債		
長期借入金	643,951	700,558
事業損失引当金	9,080	9,100
特別修繕引当金	227	255
退職給付に係る負債	6,700	6,650
資産除去債務	105,234	89,820
その他	80,044	108,715
固定負債合計	845,238	915,101
負債合計	1,210,450	1,277,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	676,273
利益剰余金	1,584,645	1,625,812
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,549,494	2,587,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,049	26,190
繰延ヘッジ損益	△36,423	△18,331
為替換算調整勘定	507,560	469,664
その他の包括利益累計額合計	517,185	477,524
非支配株主持分	222,023	268,882
純資産合計	3,288,703	3,334,054
負債純資産合計	4,499,153	4,611,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	926,597	809,091
売上原価	388,786	402,262
売上総利益	537,810	406,828
探鉱費	21,319	3,999
販売費及び一般管理費	63,792	64,474
営業利益	452,698	338,354
営業外収益		
受取利息	8,695	7,487
受取配当金	3,033	3,480
有価証券売却益	4,715	11,488
持分法による投資利益	9,245	—
為替差益	6,821	12,252
その他	31,472	14,875
営業外収益合計	63,984	49,584
営業外費用		
支払利息	2,092	2,932
持分法による投資損失	—	1,107
生産物回収勘定引当金繰入額	10,157	22,192
探鉱事業引当金繰入額	1,097	305
その他	10,977	7,061
営業外費用合計	24,324	33,599
経常利益	492,358	354,339
税金等調整前四半期純利益	492,358	354,339
法人税、住民税及び事業税	375,818	293,785
法人税等調整額	14,154	9,523
法人税等合計	389,973	303,309
四半期純利益	102,385	51,030
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	601	△16,423
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,783	67,453

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	102,385	51,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,375	△19,862
為替換算調整勘定	188,635	△57,761
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,171	17,418
その他の包括利益合計	185,839	△60,205
四半期包括利益	288,225	△9,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,618	27,792
非支配株主に係る四半期包括利益	606	△36,967

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	492,358	354,339
減価償却費	37,874	58,754
のれん償却額	5,070	5,070
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	13,135	23,709
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△688	△2,360
その他の引当金の増減額(△は減少)	1,266	△174
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	159	152
受取利息及び受取配当金	△11,728	△10,750
支払利息	2,092	2,275
為替差損益(△は益)	6,825	3,467
持分法による投資損益(△は益)	△9,245	1,107
有価証券売却損益(△は益)	△4,715	△11,488
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	54,430	39,856
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△50,413	△36,754
売上債権の増減額(△は増加)	7,178	4,669
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,696	△5,822
仕入債務の増減額(△は減少)	9,331	3,379
未収入金の増減額(△は増加)	4,420	44,597
その他	△42,626	△12,595
小計	508,030	461,434
利息及び配当金の受取額	21,016	19,543
利息の支払額	△1,228	△1,693
法人税等の支払額	△397,429	△327,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	130,388	151,455
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△142,589	△376,014
定期預金の払戻による収入	519,103	680,979
長期預金の預入による支出	△112,181	△439,989
有形固定資産の取得による支出	△338,154	△371,123
有形固定資産の売却による収入	124	1,038
無形固定資産の取得による支出	△4,530	△20,171
有価証券の売却及び償還による収入	147,088	115,112
投資有価証券の取得による支出	△25,667	△6,658
投資有価証券の売却及び償還による収入	65,914	27,700
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△60,412	△54,105
短期貸付金の増減額(△は増加)	△4,982	△7,285
長期貸付けによる支出	△29,566	△218,249
長期貸付金の回収による収入	208	389,862
権益取得による支出	△17,800	△134,383
その他	44,325	△12,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,879	△425,492

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,580	198
長期借入れによる収入	24,939	116,120
長期借入金の返済による支出	△16,144	△22,694
非支配株主からの払込みによる収入	15,524	84,751
配当金の支払額	△26,289	△26,302
非支配株主への配当金の支払額	△3,939	△3,939
その他	△137	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,465	148,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,016	△2,495
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	185,818	△128,459
現金及び現金同等物の期首残高	117,530	260,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	303,349	132,518

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	91,780	320,235	77,076	428,597	8,907	926,597	—	926,597
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	91,780	320,235	77,076	428,597	8,907	926,597	—	926,597
セグメント利益又は損失(△)	8,176	156,133	27,703	280,334	△12,009	460,338	△7,639	452,698

(注) 1 セグメント利益の調整額△7,639百万円は、セグメント間取引消去157百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,797百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	77,564	249,180	51,509	420,378	10,457	809,091	—	809,091
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	77,564	249,180	51,509	420,378	10,457	809,091	—	809,091
セグメント利益又は損失(△)	4,577	89,910	12,290	246,040	△6,725	346,092	△7,737	338,354

(注) 1 セグメント利益の調整額△7,737百万円は、セグメント間取引消去152百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,890百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
日本	原油	0.8百万バレル (日量2.8千バレル)	0.8百万バレル (日量3.0千バレル)
	天然ガス	28.1十億CF (日量102.1百万CF)	30.2十億CF (日量109.9百万CF)
	小計	6.1百万BOE (日量22.0千BOE)	6.5百万BOE (日量23.7千BOE)
	ヨード	346.6t	377.7t
	発電	148.8百万kWh	146.5百万kWh
アジア・オセアニア	原油	11.1百万バレル (日量40.5千バレル)	13.6百万バレル (日量49.5千バレル)
	天然ガス	180.1十億CF (日量654.9百万CF)	197.2十億CF (日量717.2百万CF)
	小計	45.2百万BOE (日量164.5千BOE)	50.7百万BOE (日量184.3千BOE)
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	7.1百万バレル (日量25.8千バレル)	8.6百万バレル (日量31.2千バレル)
中東・アフリカ	原油	46.1百万バレル (日量167.8千バレル)	67.9百万バレル (日量246.9千バレル)
米州	原油	0.6百万バレル (日量2.3千バレル)	2.1百万バレル (日量7.5千バレル)
	天然ガス	28.9十億CF (日量104.9百万CF)	23.1十億CF (日量83.8百万CF)
	小計	5.7百万BOE (日量20.9千BOE)	6.2百万BOE (日量22.4千BOE)
合計	原油	65.8百万バレル (日量239.2千バレル)	93.0百万バレル (日量338.2千バレル)
	天然ガス	237.0十億CF (日量861.9百万CF)	250.5十億CF (日量910.9百万CF)
	小計	110.2百万BOE (日量400.9千BOE)	139.8百万BOE (日量508.5千BOE)
	ヨード	346.6t	377.7t
	発電	148.8百万kWh	146.5百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含まれます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から12月31日の実績となっております。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第3四半期連結累計期間は原油85.8百万バレル(日量312.1千バレル)、天然ガス303.5十億CF(日量1,103.7百万CF)、合計143.0百万BOE(日量519.9千BOE)、当第3四半期連結累計期間は原油109.8百万バレル(日量399.4千バレル)、天然ガス325.4十億CF(日量1,183.4百万CF)、合計170.8百万BOE(日量621.0千BOE)となります。

5 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。

7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	556千バレル	6,028	501千バレル	3,385
	天然ガス (LPGを除く)	46,765百万CF	71,668	44,989百万CF	64,117
	LPG	5千バレル	42	5千バレル	31
	その他		14,041		10,030
	小計		91,780		77,564
アジア・オセアニア	原油	7,498千バレル	79,040	10,489千バレル	69,363
	天然ガス (LPGを除く)	151,837百万CF	224,201	179,616百万CF	170,722
	LPG	2,200千バレル	16,993	1,952千バレル	9,094
	小計		320,235		249,180
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	7,427千バレル	77,076	7,917千バレル	51,509
中東・アフリカ	原油	43,060千バレル	428,597	66,248千バレル	420,378
米州	原油	21千バレル	220	1,267千バレル	7,000
	天然ガス (LPGを除く)	28,002百万CF	8,687	25,505百万CF	3,457
	小計		8,907		10,457
合計	原油	58,562千バレル	590,963	86,423千バレル	551,637
	天然ガス (LPGを除く)	226,605百万CF	304,557	250,110百万CF	238,297
	LPG	2,205千バレル	17,035	1,957千バレル	9,125
	その他		14,041		10,030
	合計		926,597		809,091

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から9月の業績を第3四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。

4 主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
ADNOC	—	—	102,391	12.7